

品川支部

令和3年11月1日発行
 〒141-0022 品川区東五反田1-8-5
 TEL 3442-7075
 天理教品川支部（豊英分教会内） 発行責任者 栗原薫 編集 支部編集部

11月

庚子(かのえね)の年 最後の月になりました

庚子(かのえね)の年は、全ての物が一度クリアされ、又新たに始まるという六十年に一度の年という事でした
 今の時代、そういった年でも何も起こるものかと思って年初を迎えましたが、なんと世界中がこの新型コロナウイルスの災禍の中、生活様式が一変されることになりました。
 ただ偶然だと考えるか、神様の思し召しに何らかの意味を見出すか新たな世界に向かい大きな違いが出るように思います。
 本当に大変な時期を過ごされていても、自らを一しきり嘆いた後は、苦しい中来年に向け、陽気ぐらしに向け、人助けに気持ちを向けて参りましょう。



☆支部行事のお知らせ

- ・支部幹事会
十一月九日(火)午後六時〜
櫻京分教会にて
- ・教区ひのきしん
先月から再開され今月は本品組です
無理の無いレベルでお努め願います
- ・神名流し
中止
- ・在宅センターひのきしん

・支部例会

十一月三十日は本大崎分教会から
 豊英分教会での例会に変わりましたので
 お間違えの無いよう宜しくお願い致します。
 ※ 二頁に詳細掲載

☆教務支庁からのお知らせ

- ・基礎講座東京会場
九月の二十八日から三十日の全教一斉
ひのきしんデー時に開催されました基礎
講座はコロナ禍にもかかわらず十九人の
方の参加を頂きました。
これからの開催も宜しくお願い致します
- ・赤い羽根共同募金
赤い羽根共同募金は十一月十九日まで
募集を行っています。入り用のかたには赤い
羽根の用意もありますのでお申し付けくだ
さい

T & W 里親等自立支援貸付制度

これは教友が里親で支援させて頂いた十八歳の後の支援がなく大学を断念されたり、修養科へ行かせられる費用がなく繋ぐ事が出来ない様な時、支援出来る制度を新たに創った物です。詳細はホームページで

品川支部から

- ・品川支部では、今回新たに
青年会と災救隊の責任者に
青年会 本品分教会 中澤光太先生
災救隊 都南分教会 西海理生先生
両先生にお勤め頂く事になりました
宜しくお願い致します

品川支部では、支部内にお住みの教友の方に楽しく参加頂けるように、企画して参ります。
 まずは支部内に嫁いでこられた方
 子育て真っ最中の方が気軽に東京
 近辺の紹介を兼ねて会食できるよ
 うな企画をしたいと思えます。
 コロナ禍で、万全の予防に目処が
 つきましたらご案内させて頂きま
 すので楽しみにしておいて下さい。

拠点教会	3日号	10日号	17日号	24日号
日本橋	手配り	手配り	手配り	手配り
本 荏	手配り	手配り	直 送	直 送
南 泰	手配り	手配り	手配り	直 送
三ツ木	直 送	直 送	手配り	手配り
水豊田	手配り	手配り	手配り	手配り

時報手配り十一月予定
 今月から手配り再開とします。
 ※コロナ禍の状況で無理な方は
 遠慮無く申し出下さい。

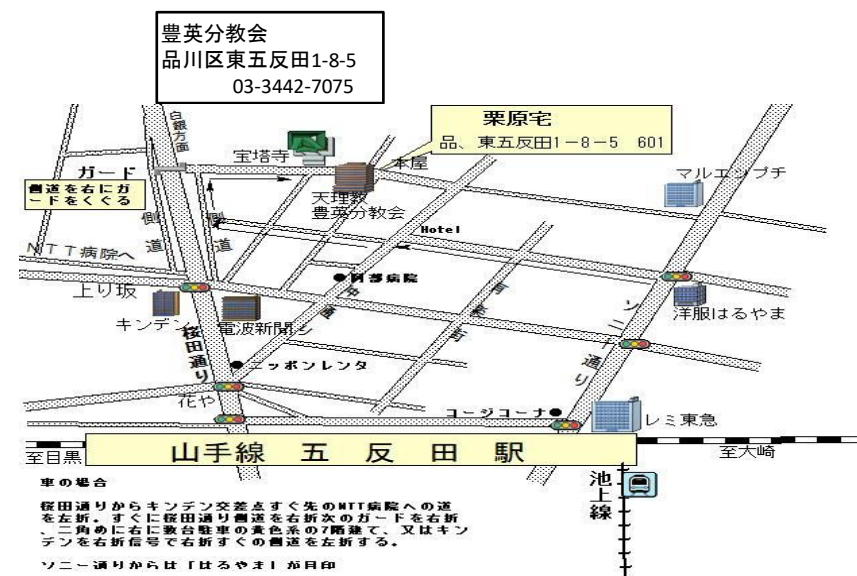
品川支部例会

令和3年11月30日 (火) 11時開始

場所 豊英分教会

座りづとめ よろづよ八首 十一下目 東京教区、支部連絡事項 当該栗原教会長挨拶 *各教会の方のほかどなたでも (白足袋ハッピー着用)

尚、コロナ状況で変更も有ります



ひのきしんさん宛

本大崎分教会長

今回もひのきしんの事を書かせて頂きます。

大教会より御命を頂きまして九月二十一日より二十五日まで五日間詰所の外壁補修・塗替へのひのきしんをしてきました。一年二か月ぶりに帰る御本部神苑はいつものように厳かな佇まいで、南礼拝殿に向って足を踏み出せば玉砂利の音と感触が心洗われる様な気持ち良さです。拝殿に額ずき無事帰らせて頂いたお礼のお勤めを始めると、其処此処からもお勤めの声が流れてきて、子供のころから変わらない懐かしい想いに胸が満たされます。

教祖殿にて「只今帰りました。有難うございました」と小さく声に出して拝礼をすれば、教祖が静かに見守って居て下さっているように感じられて、嬉しい気持ちに包まれます。

やっぱりおちばは素晴らしい！今回のひのきしんは足場を組んで行う高所作業を含み、又その足場や鉄パイプ等はクレーンを使って二階迄上げるといふ少々危険を伴う作業となることから、大教会では若い先生方にも声をかけて下さった結果、九月は八名での作業となりました。

来年三月迄行うひのきしんの日程を広報して、大教会に繋がる大勢の人達でこのひのきしんをさせて頂き、新型コロナウィルスの蔓延によって沈みがちであった空気を一掃して賑やかな日々を取り戻したい、との役員先生の思いがあるように感じさせて頂きましたので、御本部月次祭や大祭を参拝した後、帰宅される迄の少しの間、ペンキひと塗りでもと、ひのきしんを希望される先生を募り、お手伝い頂けるように準備をし、ひのきしんの喜びをお持ち帰り頂いてこのひのきしんを盛り上げていきたいと思いました。

まずは来年三月までは、十二月を除いて毎月おちば帰りを

させて頂ける事とひのきしんをさせて頂ける事が、今から決まっているというのが、私には大変有難い事なのであります。

いつものメンバーで楽しんで終えているひのきしんですが、これからは少しずつ若手に委ねるように配慮しつつ、やっぱり楽しんでひのきしんさせて頂く心算でこの数日の準備をしています。

さて私は支部内では時報手配りの責任者をさせて頂いていますので、少しその辺のことを書かせて頂きます。長い間お休みをしている手配りですが、九月三十日に緊急事態宣言が解除された事により道友社手配り事務局から「手配りの再開を積極的にご検討ください」との連絡を教区を通じて頂いています。

これは緊急事態宣言が解除される度に事務局から

出されてきたメッセージなのですが、今迄、品川支部では手配りを再開出来ませんでした。

それはその都度に第二波、第三波と感染者の増大があつて再び・またび緊急事態宣言が繰返し出されたことからなのは皆様にもお分かり頂いていると思います。

しかし、どうでしょう？この数日の感染者数の減少は。(十月十五日現在東京の感染者五十七人)今度こそ手配りの再開を積極的に検討出来る時が来たと思えるのです。

手配りひのきしん者に登録して下さっている皆様、手配りが再開される折に、又ご協力下さいますようお願い申し上げます。

本大崎 三輪